

痘そう、エムポックス、牛痘、痘そうワクチン接種後のワクチニアウイルスの増殖による  
合併症に対する治療薬

## テポックスカプセル 200mg (Tecovirimat) 製造販売承認を取得

報道関係各位

2025年1月7日

日本バイオテクノファーマ株式会社

日本バイオテクノファーマ株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役社長：篠原直樹）は、痘そう、エムポックス、牛痘、痘そうワクチン接種後のワクチニアウイルスの増殖による合併症に対する治療薬“テポックスカプセル200mg”（Tecovirimat）の製造販売承認を令和6年12月27日に厚生労働省より取得しました。

エムポックスは2022年から欧米を中心に流行しており、2023年10月29日時点で9万人以上の感染例が報告されています。国内では、2022年7月に初めて感染例が報告されて以降、2024年9月22日時点で249例（うち、少なくとも死亡1例）が報告されています。最近では、アフリカを中心としたクレード I aの蔓延に加え、新たにクレード I bの流行も認められ、WHOは、2024年8月に国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態を宣言しました。

また、天然痘（痘そう）に関しては、既に世界保健機関(WHO)により撲滅が宣言されていますが、日本では1976年に定期種痘が中止されたことにより、現在では50代未満の多くの方が天然痘に対して免疫を持っておらず、今後、生物テロ等による天然痘ウイルスの再出現によるアウトブレイクが発生した場合には、抗ウイルス療法を含む医学的対策が極めて重要です。

天然痘ウイルスは、自身では増殖できず、ヒトの細胞を利用して増殖します。VP37エンベロープラッピングタンパク質は、細胞内で合成された成熟なウイルス(IMV)から、新たなウイルス(IEV)を作り出す働きを持っています。テポックスカプセル200mgは、この働きを阻害し、エンベロープのウイルスが複製されるのを防ぎます。

今後のエムポックスの感染拡大や天然痘による生物テロ等の懸念に対して、テポックスカプセル200mgを用いた治療体制を行うことのお手伝いが出来ることを嬉しく思います。また今後も日本の医療に貢献できるよう日々精進していきます。

(日本バイオテクノファーマ：<https://www.japanbiotechnopharma.com/>)



Japan Biotechno Pharma Co.,Ltd 2-6-13 Nihonbashi Honcho,Chuo-ku, Tokyo Japan